

＝令和元年度竜王小学校だより＝

# 竜の子



令和元年7月5日  
No. 11  
校長 小尾 一彦

## 授業参観、学級・学年懇談会が行われました！

7月2日（火）に1～3学年、4日（木）に4～6学年は、授業参観、学級・学年懇談会を行いました。多くの保護者の皆様の参観に子どもたちもうれしそうでした。1学期も残り少なくなりませんが、4月に比べて、子どもたちの様子はどうだったでしょうか。今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

### 【学校教育目標】

明るく元気な竜（たつ）の子の育成

「た」…… 助け合う子ども（情）

「つ」…… 強い心の子ども（意）

「の」…… 伸びゆく体の子ども（体）

「こ」…… 根気よく学ぶ子ども（知）

1年生：算数「のこりはいくつ ちがいはいくつ」



2年生：算数「100より大きい数」



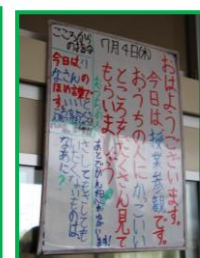
3年生：算数「あまりのあるわり算」



4年生：算数「四角形を調べよう」



5年生：総合「林間学校発表会」



6年生：総合「修学旅行：鎌倉散策発表会」

## 1年生と6年生がプールで交流しました！

6月28日（金）の2校時に、1年生と6年生がプールで交流をしました。6年生が1年生をだっこしたり、おんぶしたりして1年生はとても楽しそうでした。6年生は本当に優しいお兄さん、お姉さんです！



## ■ 第1回ドラゴンランプリ開催！

6月27日（木）の昼休みに児童会主催の第1回ドラゴンランプリが開催されました。今回の競技は、うわばき飛ばしでした。それぞれの学年のチャンピオンが児童玄関前に掲示されました。・・・ちなみに、一番うわばきを飛ばした人は、6年生で26m60cmでした！



## ■ 6年2組で研究授業が行われました！～分数÷分数の計算の仕方を考えよう～

7月3日（水）に、6年2組で前田先生が算数の研究授業を行いました。「分数÷分数の計算の仕方を考える」ことをめあてにした授業でした。本校ではプログラミング学習の研究と問題解決型学習として算数の授業づくりの研究を進めています。今回は、山梨大学の成田雅博先生を指導・助言者にお迎えし研究会を行いました。「分数÷分数は、わる数を逆数にしてかける」という結果だけを考えれば簡単ですが、どうしてそうなるかとなると、とても難しい学習です。6年2組の子どもたちは、最後まで集中し学習に取り組み、考えを発表し合い課題を解決していきました。これまでの学習の積み重ねがはっきりとわかる素晴らしい授業でした。



研究会

## ■ 7月7日にあったこと・・・～たなばた甲府空襲～

今から74年前の1945年（昭和20年）7月6日の深夜から7日にかけて、短冊に願いを込め軒先に飾った平和な甲府の家々を131機のアメリカ軍B-29爆撃機による爆撃がありました。これが「甲府空襲」です。（「たなばた空襲」とも呼ばれています。）当時、甲府市は東京からの疎開した子どもたちが多く、遠く離れた両親や家族との再会を短冊に書いた子どもたちが多かったはずですが、子どもたちのその願い事は、無残にも打ち砕かれたのです。この空襲で死者は1127名、焼夷弾により市内をなめ尽くした猛火は一晩燃えつづけ、朝になってもくすぶり続けていたそうです。黒い塀と白壁の土蔵が立ち並んでいた城下町の風景はあとかたもなく焼け落ち、焦土の中に焼けただけだ6階建ての松林軒が残っているだけで、他は見渡す限り焼け野原、至る所に死体が転がっていたとのことです。



6月には沖縄戦があり、県民の4人に1人が命を失ったと言われています。8月6日の広島、9日の長崎原爆投下、そして15日の終戦記念日。8月の声を聞くと、太平洋戦争の話が多くなります。戦後74年、戦争を体験した世代がだんだんと少なくなり、いずれは戦争を体験していない世代だけになってきます。決して風化させてはいけませんし、山梨県であった甲府空襲（大月空襲・吉田空襲もありました）を、山梨県民に伝え残していかなければなりません。

・・・県立図書館では、甲府空襲展が7月10日まで開催されています。